

ニュース・レター

No. 38 2016年2月

目次

理事長挨拶	1頁
2015年度総会議事録	2頁
2015年度総会・研究会報告	6頁
2014年度日本選挙学会賞	14頁
『選挙研究』目次	15頁
各委員会からのお知らせ	17頁
理事会だより	21頁
理事会議事録	22頁
事務局だより	30頁

選挙制度改革に向けて

岩渕 美克

2015年から2016年は、日本の選挙制度にとって大きな1年になりそうです。まずは選挙権年齢が18歳に引き下げられたこと。この結果240万人の新たな有権者が生まれると同時に、主権者教育についての関心も高まりました。これまでも主権者教育の必要性は感じていたのですが、なかなか話題には上ってきませんでした。主権者教育の足りない状況で、若者の投票率や政治関心が低いことだけが話題になっているのには違和感がありましたが、ようやく話題に上るようになり、文科省をはじめとして危機感を持って対応するようになったことは喜ばしいことです。会員の多くは大学教員である日本選挙学会としても、今後とも主権者教育には積極的に取り組む必要があるかと思えます。

また、一票の格差に関する違憲状態判決が常態化した選挙制度についても、司法の要請で抜本的改革が唱えられています。まず第一歩として、参議院議員の選挙制度で初めて合区案が国会を通過しました。一人別枠方式に代表される都道府県を単位とした選挙区割りが見直されました。これについては、政党や議員の側からのコメントも多いようですが、司法の要請を無視するわけにはいきません。また、参議院では5倍未満ならば大丈夫とされていた格差も、当たり前のことですが2倍未満に抑えるように要請されています。ただし、新しい制度でも2倍は越えているので、またぞろ違憲状態の判決が出るのが予想されます。衆院についても、有識者の答申案が出されましたが、これももめています。やは

り議員の立場からでは改革は難しそうです。日本選挙学会としても、今後はこうした制度的な側面の研究を益々行い、こうした実績を内外にアピールする必要があるかもしれません。

(いわぶち よしかづ・日本大学教授)

[目次へ](#)

2015年度総会議事録

2015年度の総会は、2015年5月16日（土）に熊本県崇城大学ホール（大会委員長＝今井亮佑理事）にて開催されました。

日 時：2015年5月16日（土）17時45分～18時30分

場 所：熊本県崇城大学ホール

1. 理事長挨拶

岩淵美克理事長から開会の挨拶があった。

また、岩淵理事長より岩崎正洋事務局長を議長に選出するとの提案があり、承認された。

2. 大会運営委員長挨拶

今井亮佑 2015年度大会委員長から挨拶、および同大会の進行状況に関する説明があった。

議題

3. 各委員会活動報告

■ 企画委員会

品田裕 2015年度大会企画委員長より、同大会企画趣旨についての説明があった。

浅野和生 2016年度大会企画委員長より、来年度の企画について説明があった。

■ 年報編集委員会

谷口尚子年報編集委員長（第30号担当）より、『選挙研究』第30巻1号・2号の刊行について報告があった。

河崎健年報編集委員長（第31号担当）より、『選挙研究』第31巻1・2号の内容および編集状況について報告があった。

前田幸男年報編集委員長（第32号担当）より、『選挙研究』第32巻1・2号の内容および編集の方針について報告があった。

■ 選挙管理委員会

三船毅選挙管理委員より、2015年度日本選挙学会公選理事候補者選出選挙に関する説明があった。（岩崎事務局長代読）。

■ 査読委員会

和田淳一郎 2014 年度査読委員長より、同委員会活動状況に関する報告があった。

浅野正彦 2015 年度査読委員長より、同委員会の今後の活動状況に関して説明があった。

■ 学会賞選考委員会

池谷知明 2014 年度学会賞選考委員長より、2014 年度学会賞の選考結果について説明があった。

森脇俊雅 2015 年度学会賞選考委員長より、2015 年度学会賞の選考について説明があった。

■ 国際化特別委員会

日野愛郎国際交流委員長より、2014 年度国際共同研究奨励費および海外学会報告奨励費の選考結果について報告があった。

4. 2014 年度決算・監査報告

岩崎事務局長より、2014 年度の決算報告、安野智子・竹下俊郎両監事より監査報告がなされたのち、同決算が承認された。

5. 2015 年度予算案について

岩崎事務局長から 2015 年度予算案について説明がなされたのち、同予算案が承認された。

6. 2016 年度総会・研究会の開催について（日本大学）

岩淵理事長から 2016 年度総会・研究大会が日本大学法学部で行われる旨について報告があった。

7. その他

岩崎事務局長より、最近の会員数について報告があった。

木村昌孝会員（茨城大学）より、『選挙研究』の査読期間（6 か月）が長い、また受理の時間等々を論文に書いていただければ、との提案があった。

前田年報編集委員長より、現在では査読期間は短縮されて、6 か月もかからないとの説明があった。

以上

2014 年度 決算報告

収 入		支 出	
項目	金額	項目	金額
	(円)		(円)
前年度からの繰越金	5,225,133	総会・研究会費	499,892
寄付（櫻田会）	1,400,000	委員会・事務局活動費	823,300
会費等（含、バックナンバー販売）	2,313,893	事務委託費	0
利子	564	通信費	166,332
委員会活動費返却分	672,600	ウェブサイト作成・開発費	163,080
事務局委託費過払い金	45,341	学生アルバイト費（謝金）	30,000
		海外交流費	600,000
		学会賞賞金	150,000
		印刷費	3,197,793
		文具費	26,761
		雑費	32,856
		次年度への繰越金	3,967,517
合 計	9,657,531	合 計	9,657,531

年報発行準備金

収 入		支 出	
	(円)		(円)
前年度からの繰越金	10,257,166	次年度への繰越金	10,257,462
利息	296		
合 計	10,257,462	合 計	10,257,462

2015年度 予算案

収 入		支 出	
項目	金額	項目	金額
	(円)		(円)
前年度からの繰越金	3,967,517	総会・研究会	850,000
寄付（櫻田会）	1,400,000	委員会・事務局活動費	1,100,000
年会費	3,700,000	通信費	200,000
年報等売上	10,000	ウェブサイト作成・開発費	200,000
委員返却分	650,000	学生アルバイト費	50,000
利子	1,000	謝金	20,000
		海外交流費	500,000
		学会賞賞金	200,000
		印刷費	3,200,000
		文具代	20,000
		雑費	50,000
		次年度へ繰越金	3,338,517
合 計	9,728,517	合 計	9,728,517

年報発行準備金

収 入		支 出	
	(円)		(円)
前年度からの繰越金	10,257,462	次年度への繰越金	10,258,962
利息	1,500		
	10,258,962		
合 計	10,258,962	合 計	10,258,962

2015年度総会・研究会報告

[目次へ](#)

2015年度日本選挙学会総会ならびに研究会は、2015年5月16日（土）・17日（日）に熊本県崇城大学ホールで開催されました。

第1日 5月16日（土）

◆分科会 A・B・C・D（10:00～12:00）

【分科会 A（社会心理部会 1）：民主主義を支える有権者の能力】

◇司会者

河村 和徳（東北大学）

◇報告者

稲増 一憲（関西学院大学）：「インターネット利用と有権者の情報環境の偏り」

山田 真裕（関西学院大学）・尾野 嘉邦（東北大学）：「DK 回答と社会的望ましさ」

岡田 陽介（立教大学）：「候補者評価の規定要因としての「声」」

◇討論者

中村 悦大（愛媛大学）

【分科会 B（法律・制度部会）：政治参加を支える選挙管理】

◇司会者

松本 俊太（名城大学）

◇報告者

岡田 順太（白鷗大学）：「政治参加と法教育—選挙、議会、裁判の模擬体験を通じて」

西山 千絵（沖縄国際大学）：「投票価値の較差をめぐる選挙無効訴訟：最高裁の対応と統治機構のあり方論」

岡本 哲和（関西大学）：「選挙公報とネット選挙」

◇討論者

湯浅 壱道（情報セキュリティ大学院大学）・大村 華子（関西学院大学）

【分科会 C (パネルディスカッション) : The Comparative Analysis of Electoral Systems】

◇司会者

根元 邦朗 (早稲田大学)

◇講演

エリス・クラウス (カリフォルニア大学サンディエゴ校) : 「Large Project Comparative Electoral Analysis: the Results and the Experience」

◇討論者

田中 愛治 (早稲田大学)・川人 貞史 (東京大学)

【分科会 D (地方部会) : 地方政治分析への新たなアプローチ】

◇司会者

砂原 庸介 (大阪大学)

◇報告者

山田 恭平 (国際大学)・田中 世紀 (シラキュース大学)・Steve Pickering (神戸大学) : 「Does Boundary Change Affect How Benefits Are Allocated within a Municipality?」

三浦 麻子 (関西学院大学) : 「市民は誰をどのように選択したか : 兵庫県赤穂市長選挙における社会調査の結果から」

Ken Hijino (京都大学) : 「Campaigning against Tokyo: Intra-party Conflicts over Policy Programs in Japan」

◇討論者

小林 哲郎 (国立情報学研究所)・砂原 庸介 (大阪大学)

◆理事会 (12:05~12:55)

【分科会 E】◆知事講演 : 「政治学者と政治家のあいだでー決断・対応・目標の政治学ー」 (13:00~15:00) (ホール)

◆共通論題 : 「首相を分析する」 (15:15~17:45) (大会議室)

◇司会者

品田 裕 (神戸大学)

◇報告者

前田 幸男 (東京大学)・平野浩 (学習院大学) : 「有権者の心理過程における首相イメージ」

待鳥 聡史 (京都大学) : 「官邸権力の変容 : 首相動静データの包括的分析を手がかりに(仮)」

濱本 真輔 (北九州市立大学) : 「首相と党内統治(仮)」

◇討論者

野中 尚人 (学習院大学)・尾野 嘉邦 (東北大学)

◆総会 (17:45~18:30) (大会議室)

◆懇親会 (19:00~) (熊本市役所 14 階 ダイニングカフェ彩)

【第2日】 5月17日 (日)

◆分科会 F・G・H・I (9:30~11:30)

【分科会 F (政策部会) : 選挙競争と政党・政治家】

◇司会者

上神 貴佳 (岡山大学)

◇報告者

久保 浩樹 (ライス大学) : 「日本における政党のイデオロギー的凝集性と選挙競争」

谷口 尚子 (東京工業大学)・クリス・ウインクラー (ドイツ日本研究所) : 「世界の中の日本の政党—政党公約コーディングによる国際比較」

樋渡 展洋 (東京大学) : 「経済の国際的循環と政党の政策位置の変動—1975-2012」

◇討論者

竹中 治堅 (政策研究大学院大学)・大川 千寿 (神奈川大学)

【分科会 G (比較部会 2) : The Changing Dynamics of Taiwanese Democracy】

◇司会者

高橋 百合子 (神戸大学)

◇報告者

Chia-hung Tsai (National Chengchi University) ※ 報告辞退となりました

「Estimating the Effect of Regionalism in Korea and Taiwan's Presidential Elections」

T.Y. Wang (Illinois State University)・Su-feng Cheng (National Chengchi University)・Chao-chi Lin (National Chengchi University) : 「The Transformative Effects of Cross-Strait Contacts on Taiwan Citizens' Identity」

Ching-hsin Yu (National Chengchi University)・Chang-chih Lin (National Chengchi University)・Tsung-han Tsai (National Chengchi University) :

「Unaccountable Accountability? Citizen's Perception of Electoral Accountability in the 2014 Election for City Mayor of Kaohsiung」

Eric Chen-hua Yu (National Chengchi University) ※ 報告辞退となりました : 「The Transformation of Candidate Selection Methods in Taiwan」

◇ 討論者

浅羽 祐樹 (新潟県立大学)・菊池 啓一 (アジア経済研究所)

【分科会 H (方法論部会) : 『熟慮』型世論調査の可能性: 実験による検証】

◇ 司会者

西澤 由隆 (同志社大学)

◇ 報告者

山崎 新・遠藤 晶久・清水 和巳・田中 愛治 (早稲田大学)

「熟慮 (Deliberation-Within) と「考えられた世論」: ウェブ「熟慮」実験の結果」

日野 愛郎・千葉 涼・今井 亮佑 (早稲田大学)

「世論調査における回答者の熟慮過程－熟慮の質に関する指標化の試み」

横山 智哉 (一橋大学)

「政策争点に関する情報提示が異なる意見を支持する他者の寛容性に及ぼす影響: オンラインサーベイ実験を通じて」

◇ 討論者

曾根 泰教 (慶應義塾大学)・池田 謙一 (同志社大学)

【分科会 I (歴史部会) : 太平洋戦争前後の地方選挙 (仮)】

◇ 司会者

奥 健太郎 (東海大学)

◇ 報告者

浅野 和生 (平成国際大学)

「戦前期台湾における地方選挙」

手塚 雄太 (鎌ヶ谷市郷土資料館)

「公職追放された代議士の占領と戦後 (仮)」

吉田 龍太郎（慶應義塾大学）

「独立回復期の野党勢力と反共産主義運動」

◇討論者

小宮 京（青山学院大学）・小南 浩一（兵庫教育大学）

◆分科会 J（12:30～14:30）

【分科会 J（ポスターセッション）（大会議室）：選挙研究のフロンティア】

勝又 裕斗（東京大学）：「選挙における脆弱性と候補者の政策位置変更」

三輪 洋文（東京大学）：「イデオロギー的な用語の意味を理解している有権者による政党のイデオロギー位置の認識」

梅田 道生（愛媛大学）：「人口高齢化と政治：重視する争点の世代間差異とその政策的帰結」

竹本 圭佑（東京工業大学）：「愛国者のその後：世界価値観調査パネルによる検討」

田中 智和（上宮高等学校）：「投票行動の結果的責任を考えるー投票行動のポートフォリオについてー」

小林 哲郎（国立情報学研究所）・横山 智哉（一橋大学）：「党派キューと新聞キュー：サーベイ実験による比較」

木村 昌孝（茨城大学）：「議席上限設定と逆進的代表制による少数派の加重代表（Minority Over-representation）：多極共存型民主主義における自己決定と事前決定の問題をめぐって」

岸本 一男（筑波大学）：「空間的投票理論における認知誤差の影響」

澁谷 壮紀（東京工業大学）・谷口 尚子（東京工業大学）・クリス ウィンクラー（ドイツ日本研究所）：「政党マニフェスト・コーディング・データを用いた有権者のイデオロギーに関する国際比較・時系列比較」

加藤 言人（早稲田大学）：「海外諸国に対する新聞報道内容と世論動向：米・中・韓・北朝鮮に対する新聞報道の内容分析と好感度・重要度認識の変動」

浅井 直哉（日本大学）：「「カルテル政党」モデルの再構築」

若山 将実（北陸学院大学）：「衆議院議員選挙における地方議員の鞍替え立候補の研究」

堀田 敬介（文教大学）・川原 純（奈良先端科学技術大学院大学）・堀山 貴史（埼玉大学）・湊 真一（北海道大学）：「フロンティア法による連結成分列挙と選挙制度への応用」

小野 恵子（オクラホマ大学） ※ 報告辞退となりました：「米大統領支持の党派による差の拡大：ブッシュとオバマ政権から見えるもの」

清水 唯一朗（慶應義塾大学）：「選挙区の線引きはどうか行われたのかー近世・近代の連続と非連続から考えるー」

◆分科会 K・L・M (14:30~16:30)

【分科会 K (比較部会 1) : 政党論の比較政治】

◇司会者

高安 健将 (成蹊大学)

◇報告者

杉田 弘也 (神奈川大学) : 「パーティーは終わった? オーストラリア連邦下院におけるクロスベンチ議員の台頭」

新川 匠郎 (ベルリン自由大学) : 「オーストリアとドイツの州における合意型の政権の成立 : 連邦制下の多元的で結合的な因果経路の分析」

土倉 莞爾 (関西大学) : 「パスカル・ペリノーのフランス FN (国民戦線) 論」

◇討論者

岩崎 正洋 (日本大学)

【分科会 L (制度部会 2) : 政治制度と代表制民主主義】

◇司会者

堤 英敬 (香川大学)

◇報告者

和田 淳一郎 (横浜市立大学)・鎌原 勇太 (横浜国立大学) : 「分離可能指数による一票の平等の研究」

孫 齊庸 (立教大学) : 「比例型選挙制度における連立政権形成をめぐる政党間競争と政治資金制度」

Tzu-chen Cheng (Chinese Culture University) : 「The Relations between Politics and Business and Political Participation: from the Point of View of the Political Donations Act in Taiwan」

◇討論者

富崎 隆 (駒澤大学)

【分科会 M (社会心理部会 2) : 政治的社会化の諸相】

◇司会者

飯田 健 (同志社大学)

◇報告者

荒木 義修 (武蔵野大学) : 「投票参加一般モデルとしての『自己保存モデル』 - 『政治参加』と『市民参加』概念の誤謬 - 」

秦 正樹（神戸大学）：「非有権者における政治関心の形成メカニズム：政治的社会化の再検討を通じて」

浅野 正彦（拓殖大学）・Dennis Patterson（Texas Tech University）：「Does Smiling Matter in Winning a Seat in Japan?」

◇討論者

亀ヶ谷 雅彦（山形県立米沢女子短期大学）

2014年度日本選挙学会賞

日本選挙学会賞は、会員相互の研究交流の促進と広い意味での選挙研究の発展を目的として2009年度に創設されました。学会賞には、研究会のポスターセッションにおける会員の優れた研究発表を対象とする「優秀ポスター」、研究会における会員の優れた論文報告を対象とする「優秀報告」、『選挙研究』に掲載された会員の優れた投稿論文を対象とする「優秀論文」、の3つの賞が設けられています。

2014年度の実賞者は次のとおりです。

【優秀論文】

- 日野愛郎（早稲田大学）・山崎新（早稲田大学）・遠藤晶久（早稲田大学）
「視線追跡で明らかにする調査回答過程：政党政治支持質問と価値観質問における順序効果」
末次孝典（慶應義塾高等学校）
「明治期小選挙区制における選挙区割りと選挙人口－明治22年衆議院議員選挙法未成立案をめぐって－」

【優秀報告】

- 湯浅懇道（情報セキュリティ大学院大学）
「インターネット選挙運動と公職選挙法」

【優秀ポスター】

- 小林哲郎（国立情報学研究所）・片桐梓（スタンフォード大学）
「日中領土問題と首相支持率：サーベイ実験による旗下集結効果の検討」
細貝亮（早稲田大学）
「選挙キャンペーンにおける有権者のインターネット情報接触」

講評

2014年度の実賞は、優秀論文については『選挙研究』第30巻に掲載された特集「実験政治学」に対する公募論文および独立論文から、それぞれ1点が選ばれました。優秀報告は2014年5月に早稲田大学で開催された総会・研究会で発表された29報告から、優秀ポスターは同じく16報告から1点ずつ選ばれました。優秀論文は実験政治と日本政治史という、新旧の対照的な分野から選ばれましたが、前者は最先端の分野への、後者は新資料に基づく先行研究への、いずれも挑戦という点で共通しています。優秀報告は、2013年参議院議員通常選挙から解禁されたインターネットを用いた選挙運動について、法律の不備等に言及しながら丹念かつ説得的なプレゼンテーションを行った点が評価されました。優秀ポスター2点は、いずれも時事的に関心のあるテーマを扱った研究です。ともに確かなデータ分析を行うとともに、説得的なプレゼンテーションを行っていた点に支持が集まりました。受賞者の方々に改めて祝意を表します。また、各賞の選考に関わっていただいた委員の方々に御礼申し上げます。今年度のような優れた研究が、今後も『選挙研究』、総会・研究会で、発表、報告されることを祈念いたします。

（2014年度実賞選考委員長 池谷知明）

[目次へ](#)

『選挙研究』 目次

第31巻1号

はじめに	河崎 健
<特集1 諸外国の選挙制度改革（ヨーロッパ編）> イギリスにおける選挙制度改革の政治	阪野智一
フランスの選挙制度改革をめぐる議論	増田 正
ドイツ連邦議会議員選挙の議席配分	西平重喜
ドイツ連邦議会の選挙制度改革をめぐる議論 —2013年選挙結果との関連で—	河崎 健
ロシア連邦の下院選挙制度	上野俊彦
<特集2 2013年参議院議員通常選挙の分析> 有権者のリスク態度と政権基盤の強化 —2013年参院選における分割投票—	飯田 健
2013年参議院議員選挙における資産効果	安野智子
インターネット選挙運動と有権者の情報接行動 —2013年参議院選挙と2012年衆議院選挙の比較—	山崎 新
<報告> 2014年度第1回海外学会報告奨励費受賞者からの英文雑誌掲載の報告	尾野嘉邦
<書評> 建林正彦編著『政党組織の政治学』	谷口尚子
久米郁夫著『原因を推論する—政治分析方法論のすゝめ』	松林哲也
三浦まり・衛藤幹子編著『ジェンダー・クォータ —世界の女性議員はなぜ増えたのか』	辻 由希
河村和徳『東日本大震災と地方自治 —復旧・復興における人々の意識と行政の課題』	鶴谷将彦
トマス・ポグントケ&ポール・ウェブ（岩崎正洋監訳） 『民主主義はなぜ「大統領制化」するのか —現代民主主義国家の比較研究』	梅田道生
Kenji E. Kushida, and Philip Y. Lipsky (eds.) <i>Japan under the DPJ: The Politics of Transition and Governance</i>	大川千寿
Kenneth P. Vogel, <i>Big Money: 2.5 Billion Dollars, One Suspicious Vehicle and a Pimp</i>	前嶋和弘
マーク・クリスピン・ミラー編著（大竹秀子、桜井まり子、関房江訳） 『不正選挙—電子投票とマネー合戦がアメリカを破壊する』	

第 31 卷 2 号

はじめに	河崎 健
<特集1 首相を分析する> 有権者の心理過程における首相イメージ	前田幸男・平野 浩
官邸権力の変容 —首相動静データの包括的分析を手がかりに—	待鳥聡史
首相と党内統治—人事と造反—	濱本真輔
<特集2 諸外国の選挙制度改革(アジア・オセアニア編)> 東南アジアにおける1990年代以降の選挙制度改革	粕谷祐子
中央アジア諸国における選挙制度の「改革」 —選挙権威主義体制下の選挙制度設計とその帰結—	東島雅昌
Electoral system reform debates in democratized South Korea	八島健一郎・裴貫杓
インドにおける選挙制度改革—近年の動向と今後の見通し—	三輪博樹
既存政党の逆襲—オーストラリア連邦上院の選挙制度改革—	杉田弘也
<独立論文> 合区および総定数変化に対する議席配分最適化	堀田敬介
<学会報告> Large Project Comparative Electoral Analysis: the Results and the Experience	Ellis Krauss
<資料> 最近の選挙結果	三船 毅
<書 評> 玉井清著『第1回普選と選挙ポスター —昭和初期の選挙運動に関する研究』	湯淺壘道
前田幸男・堤英敬編著『統治の条件—民主党に見る政権運営と党内統治』	伊藤光利
川人貞史著『議院内閣制』	藤村直史
待鳥聡史『政党システムと政党組織』	成廣 孝
G. Ehrhardt/ A. Klein/ L. McLaughlin/ S. Reed (eds.) <i>Komeito: Politics and Religion in Japan</i>	建林正彦
吉野孝・前嶋和弘編著『オバマ後のアメリカ政治 —2012年大統領選挙と分断された政治の行方』	西川 賢

各委員会からのお知らせ

【企画委員会から】

2016年度の日本選挙学会の総会・研究会は、2016年5月14日（土）・15日（日）に東京都千代田区の日本大学法学部（大会運営委員長・吉野 篤理事）で開催されます。

研究会では、多くの会員の方に報告の機会を設けることを旨とし、討論のすそ野が広がることを期待して14の分科会を用意しました。すなわち、政策部会「政党と政策研究のフロンティア」、制度部会が2セッション、すなわち「民族独立とレファレンダム」および「選挙制度と投票」、社会心理部会が3セッション、すなわち「メディアに対する信頼」、「現代政治とメディア」および「世論の諸相」、方法論部会「選挙研究における因果推論」、歴史部会「太平洋戦争前後の議会と選挙」、地方部会「大阪都構想とは何だったのか」、比較政治部会が2セッション、「変化する台湾の民意—2016年総統・立法院同日選挙—」と「民族性と政治行動、その社会経済的帰結」、その他に自由論題で2セッションが企画されています。また例年通り、2日目の午後にはポスターセッション「選挙研究のフロンティア」が行われます。

1日目に開催される共通論題のテーマは「18歳選挙権実施を前にして—その影響と対応—」です。周知のとおり、本年6月に18歳選挙権が施行されますが、選挙権拡大は昭和21年以来70年ぶりのことであり、その意義と影響は小さくありません。7月に予定される参議院選挙を前に、選挙管理、学校教育、マスコミなど各界では、それぞれの理解に沿って対応策が現実に進められています。18歳選挙権実施前の段階で、この改革がどう理解され、具体的にどのような対応が行われているのかを確認しておきたいと考えています。そこで、各界の現場からの報告と、選挙研究者からの報告を基に、討論を進める予定です。

いずれもふるってご参加をいただければと存じます。

プログラムの詳細は、近日中に学会のウェブサイトで公開の予定ですので、会員各位にはご確認いただければ幸いです。また、今後のスケジュールは、以下のとおりとなっております。

2月16～3月1日：報告概要アップロード期間

4月16～5月1日：報告論文アップロード期間

8月15日：報告論文アーカイブ移行

それでは、会員の皆様と日本大学でお会いすることを楽しみにしております。

(2016年度大会企画委員長 浅野和生)

【年報編集委員会から】

2015年度刊行の『選挙研究』第31巻第1号では、「諸外国の選挙制度改革（1）（ヨーロッパ編）」と「2013年参議院議員通常選挙の分析」で特集テーマを計8本の論文を掲載いたしました。第31巻第2号では、5月の総会の共通論題「首相を分析する」と、「諸外国の選挙制度改革（2）（アジア・オセアニア編）」という特集テーマでやはり計8本の論文を載せております。論文の投稿・寄稿をして下さった方々、編集委員会・査読委員会・企画委員会・事務局の皆様、そして木鐸社の皆様に御礼申し上げます。また編集作業の遅延等で第2号をお届けする時期が例年より遅れましたこと、お詫びいたします。なお公募論文は第2号で1本を掲載できましたが、第31巻1・2号を通じて掲載できたのはこの1本のみでした。会員の皆様の積極的な投稿のほどをよろしくお願い申し上げます。

（年報第31巻担当編集委員長 河崎 健）

第32巻編集委員会では『選挙研究』における投稿査読論文の割合を高める努力をしています。具体的には、査読委員会と協力して「『選挙研究』の編集・査読スケジュールについて」会員各位にお知らせしました。また、論文投稿システムを円滑に運用するため、執筆要領の改訂作業を行い、理事会において承認を受けました。

『選挙研究』の企画については、第32巻第1号では、「選挙運動と選挙地盤の政治史」と題した特集テーマについて論文執筆の依頼を行うと同時に、投稿論文の公募を行いました。現在、査読委員会で審査が行われています。第32巻第2号については、2016年研究会の共通論題に合わせた特集と投稿査読論文を中心に編集を行う予定です。

繰り返しになりますが、第32巻編集委員会は、年報の役割は、何よりも会員の皆様が積極的に取り組んでおられる研究論文を載せることと考え、できるだけ投稿査読論文の割合を高めたいと考えております。皆様からの積極的な投稿をお待ちしております。

（年報第32巻担当編集委員長 前田幸男）

※※※投稿資格と投稿方法※※※

1. 投稿資格：

論文を投稿できるのは、投稿時点において年会費を完納している日本選挙学会の正会員です。論文を投稿するにあたっては、学会ウェブ上のMY JAESで会費納入状況を確認して下さい。なお、会費納入状況は月末締めで更新されますことにご留意下さい。投稿の詳細につきましては、学会ウェブ上に掲載してある『選挙研究』執筆要領及び論文投稿要領（<http://www.jaesnet.org/download/rules/JJES20151212.pdf>）をご確認ください。

2. 投稿方法：

投稿は随時受け付けております。学会ウェブ（<http://www.jaesnet.org/index.html>）上のMY JAESから論文のPDFファイルをアップロードしてください。投稿方法の詳細につきましては、同じく学会ウェブにあります論文投稿システムマニュアル（投稿者用）をご参照ください。年報編集委員会より投稿受理の連絡を投稿者にするとともに、査読委員会に投稿論文を送付します。投稿後、時間が経過しても（2週間程度）原稿受理の連絡がない

場合、改めて連絡をいただければ幸いです。

【査読委員会から】

海外 Journal では既に標準であるネット上からの論文投稿システムによる査読が今年度から始まりました。日本選挙学会ホームページ上の「論文投稿システムマニュアル（投稿者用）」に加え、「新着情報」に編集および査読過程をわかりやすく解説した文書を、前田編集委員長と連名で掲載しております。『選挙研究』の編集・査読スケジュールについて」と題するこの文書は、皆様が論文を投稿する際に計画を立てやすくすることを目的としたもので、『選挙研究』の基本的な編集の周期と査読に要する期間をご案内しております。是非、ご参照下さい。

今年度は 7 件の投稿を頂き、すでに掲載が決まったものもございます。初めてのネット上からの論文投稿と査読ということもあり、想定外の諸問題がいくつか浮上しましたが、事務局のご協力を得ながら査読委員会でひとつずつ解決して参りました。

年 4 回の開催が原則である査読委員会は、第一回を 10 月に開催し、今後は、第二回を 2 月、第三回を 3 月、そして第四回を 5 月に開催する予定です。査読委員会では、論文の質の向上と学術交流促進のために、今後も最善を尽くしたいと存じます。会員の皆様におかれましても、投稿、審査を含め、ご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

(2015 年度査読委員長 浅野正彦)

【国際化委員会から】

日本選挙学会では 2013 年度より、39 歳以下の若手会員による海外学会における報告を促進するために海外学会報告奨励費を設けました。また、会員と外国の研究教育機関に所属する研究者の間の国際共同研究を促進するために国際共同研究奨励費を設けました。

海外学会報告奨励費の募集は、学会の開催時期に応じて 3 回行っています。選考委員会における厳正な審査を経て、以下の会員が受領者として選定されました。

【海外学会報告奨励費】

2013 年度 第 3 回（3 月 1 日～6 月 30 日）

受領者：金 兌希 会員（慶應義塾大学）

報告学会：Midwest Political Science Association

報告論題：「Does Adversarial Mobilization Reverse the Impact of Trust on Electoral Turnout?: The Case of Regional Mobilization in Korea」

2014 年度 第 1 回（7 月 1 日～10 月 31 日）

受領者 1：Willy Jou 会員（筑波大学）

報告学会：European Consortium for Political Research

報告論題：「Understanding Ideological Semantics in Changing Contexts:
A Longitudinal

Analysis」

受領者 2：尾野 嘉邦 会員（東北大学）

報告学会：American Political Science Association

報告論題：「Personal Attributes of Legislators and Their Parliamentary
Activities」

2014 年度 第 2 回（11 月 1 日～2 月 28 日）

受領者：久保 浩樹 会員（ライス大学）

報告学会：Southern Political Science Association

報告論題：「Candidate-Centered Electoral Systems, Intra-Party Politics, and
Cabinet Composition」

2014 年度 第 3 回（3 月 1 日～6 月 30 日）

受領者 1：梅田 道生 会員（愛媛大学）

報告学会：Midwest Political Science Association

報告論題：「The Politics of Aging: Generational Difference in Welfare Issue
Saliency in Japan and Its Political Consequence」

受領者 2：小林 哲郎 会員（国立情報学研究所）

報告学会：Midwest Political Science Association

報告論題：「Territorial Issues and Support for the Prime Minister: A Survey
Experiment on Rally-'Round-the-Flag Effect」

2015 年度 第 1 回（7 月 1 日～10 月 31 日）

受領者：遠藤 晶久 会員（高知大学）

報告学会：European Consortium for Political Research

報告論題：「Citizen-government Congruence and Ideological Understanding: An
Appraisal of Japan's 'right turn」 (Willy Jou、Yoshihiko Takenaka 氏との共
著)

2015 年度 第 2 回（11 月 1 日～2 月 29 日）

受領者：なし

【国際共同研究奨励費】

2014 年度受領者：なし

2015 年度受領者：中條 美和 会員（北海学園大学）

研究課題：「Lessons for Retrospective Voting and Democratic Accountability from
2011 Tohoku Tsunami」

共同研究者：Jee-Kwang Park (Nazarbayev University, Kazakhstan), Yoshiharu Kobayashi (Nazarbayev University, Kazakhstan)

なお、海外学会報告奨励費の受領者には、『選挙研究』、または海外の学術誌で、成果を
発表することが義務付けられています。また、国際共同研究奨励費の受領者には、『選挙
研究』、または研究会において、成果を発表することが義務付けられています。

(国際化委員長 日野愛郎)

[目次へ](#)

理事会だより

【学会賞について】

2015年12月12日に開催された2015年度第3回理事会において、以下の「2016年度日
本選挙学会賞要綱」が承認されました。

2016年度日本選挙学会賞要綱

日本選挙学会事務局

(目的)

1. 日本選挙学会は、会員の優れた研究業績を顕彰するために、本学会に学会賞を設ける。

(学会賞の種類)

2. 学会賞として、以下を設ける。

1) 優秀ポスター

2016年度研究会のポスターセッションにおける会員の優れた研究発表を対象とする。

2) 優秀報告

2016年度研究会における会員の優れた論文報告を対象とする。

3) 優秀論文

2016年度に発行された、日本選挙学会年報『選挙研究』(第32巻第1号・第2号)
に掲載された会員の優れた投稿論文を対象とする。

(選考委員会)

3. 学会賞の選考のため、選考委員会を組織する。選考委員会の構成は、以下の通りとする。

1) 選考委員会は、理事長の推薦、理事会の承認を得た選考委員長及び選考副委員長、当該年度の企画委員長、編集委員長、査読委員長によって構成される。

2) 選考委員会は、ポスター小委員会、報告小委員会、論文小委員会を組織し、それぞれ小委員会委員を会員に委嘱する。ただし、小委員会委員は公表しない。

3の2. 選考委員会および各小委員会の任期は、各委員会の組織された日から学会賞の表彰される当該年次総会までとする。ただし、再任を妨げない。

(選考手続き)

4. 学会賞は以下の手続きによって選考する。

1) 各小委員会は、対象となる研究業績について第一次選考を行い、第二次選考に残る研究業績を選考委員会に提案する。

2) 選考委員会は、各小委員会の提案に基づき、第二次選考を最終選考とし、受賞候補を決定する。

3) 選考委員会は、定められた期日までに選考の経過および結果を理事会に報告する。

(表彰)

5. 受賞者それぞれに、賞状および副賞として賞金を授与する。

[目次へ](#)

理事会議事録

日本選挙学会 2014年度第3回理事会議事録

日時： 2014年12月6日(土) 14時05分～15時30分

場所： 日本大学・日本大学法学部 4号館B1第4会議室

出席者：岩淵理事長，岩崎事務局長，河崎，品田、谷口，玉井，堤，中井，名取，日野，前田，森，森脇，吉野、和田(以上理事)，竹下(監事)，荒井(紀)，荒井(祐)岡田，宮脇(以上幹事)

議題

◎ 確認事項(前回議事録)

◎ 報告事項

1. 各委員会の活動状況について

■ 企画委員会

品田裕企画委員長より，2015年度研究大会の企画趣旨および企画内容について報告があった。また、ポスター報告について追加募集を行う予定であることが説明された。

■ 年報編集委員会

谷口尚子年報編集委員長(第30巻担当)より，第30巻第2号が12月末に刊行予定であるとの報告があった。

河崎健年報編集委員長(第31巻担当)より，第31巻1号2号の編集状況について報告があった。

■ 査読委員会

和田淳一郎査読委員長より，投稿論文の査読状況について報告があった。

■ 国際化委員会

日野愛郎国際化委員長より、第2回海外学会報告奨励費の審査状況と受領者を決定した旨が報告された。

2. 2014年度日本選挙学会賞について

池谷知明学会賞選考委員長より2014年度学会賞の選考過程について説明があり、候補者に関する結果について報告があった。

3. 『選挙研究』掲載論文の転載許諾について

岩崎事務局長より『選挙研究』掲載論文を転載したいと会員から問い合わせがあり、日本選挙学会編集委員会規定第8条第1項に準じて、転載に問題がないため、許可を認めるとの報告があった。

◎審議事項

4. 2015年度総会・研究会の開催について（熊本県：崇城大学ホール）

今井亮佑 2015年度研究大会委員長（欠席により岩崎事務局長より説明）、同大会の準備状況についての報告があった。その報告をうけて、大会について明推協との共催とすることと選管職員の受け入れについて審議がなされたが、原則として、「共催」とはせず、「後援」とすることで交渉を行うことになった。また、これらの点の詳細については、今後、岩淵理事長と事務局とで対応していくことになった。

5. 2016年度総会・研究会の開催について

岩崎事務局長より2016年度総会・研究会の開催校として日本大学法学部が提示され、承認された。

6. その他

(1) 入退会申込者について

新規入会者2名の承認がされた。12月6日時点での会員数：509名

(2) ニュースレターの発行について

岩崎事務局長よりニュースレターの発行について説明があった。

(3) その他

学会賞要綱の検討がされ、該当する年度を2015年と修正することについて承認された。

以 上

**日本選挙学会
2014年度第4回理事会議事録**

日時： 2015年3月14日（土） 10時00分～12時00分

場所： 日本大学法学部 4号館B1第4会議室

出席者： 岩渕理事長，岩崎事務局長，阿部，今井，奥，品田，谷口，玉井，堤，中井，名取，日野，前田，待鳥，三船，森脇，和田（以上，理事），荒井，岡田，小林，宮脇（以上，幹事）

議題

◎ 確認事項（前回議事録）

◎ 報告事項

1. 各委員会の活動状況について

■ 企画委員会

品田裕 2015年度研究大会企画委員長から 2015年度研究会企画の準備状況について報告があった。

■ 年報編集委員会

谷口尚子年報編集委員長（第30巻担当）より，第30巻2号の発行が完了した旨の報告があった。

河崎健年報編集委員長（第31巻担当）より（欠席のため岩崎事務局長より報告），第31巻1号2号の内容予定，および刊行に向けての準備状況に関して報告があった。

前田幸男年報編集委員長（第32巻担当）より，第32巻の編集に向けて準備を進める旨について報告があった。

■ 選挙管理委員会

三船毅選挙管理委員長より，選挙管理委員の人選を現在進めている旨が報告された。

■ 査読委員会

和田淳一郎査読委員長より（欠席のため岩崎事務局長より報告），投稿論文の査読状況について報告があった。

■ 国際化委員会

日野愛郎国際交流委員長より，第3回海外学会報告奨励費の審査状況と受領者を決定した旨が資料に基づき報告された。

2. 2015年度総会・研究会の開催について（熊本県：崇城大学ホール）

今井亮介 2015年度研究大会運営委員長から，同大会の準備状況について資料に基づき報告があった。

3. 2016年度総会・研究会の開催について（日本大学）

岩渕理事長より，2016年度総会・研究会の開催校を日本大学法学部とし，その日程を例年通り5月中旬予定で進める旨が説明された。

4. ニュースレターについて

岩崎事務局長より、2015年2月に2014年ニューズレターが発刊されたことについて報告があった。

5. 2014年度日本選挙学会賞について

池谷知明学会賞選考委員長（欠席のため岩崎事務局長より説明）より、2014年度学会賞の受賞候補者（一部）の2015年度大会懇親会への出席について確認済みであることが報告された。

6. 2015年度予算（案）について

岩崎事務局長より2014年度予算案について説明があった。

7. 『選挙研究』掲載論文の転載許諾について

岩崎事務局長より『選挙研究』掲載論文を転載したいと会員から問い合わせがあり、日本選挙学会編集委員会規定第8条第1項に準じて、転載に問題がないため、許可を認めるとの報告があった。

◎ 審議事項

8. 2015年度査読委員会委員長について

岩崎事務局長より、査読委員会規程第2条2項に基づき、次期査読委員会委員長として現副委員長の浅野正彦先生が推薦された。また、同件について承認された。続いて第3項に基づき、5月までに選定し、理事会で承認する予定である旨が説明された。

9. 2015年度学会賞選考委員会委員長について

岩崎事務局長より、学会賞要綱3の1に基づき、学会賞選考委員長として森脇俊雅先生が推薦され、同件について承認された。また、次期副委員長を5月までに選定し、理事会で承認する予定である旨が説明された。

10. その他

(1) 入退会申込者について

新規入会者5名について承認した。(3月14日理事会時点：507名)

(2) その他

岩崎事務局長より、櫻田会を訪問し、来年度の年報発行助成を受けた旨について報告された。

(3) 意見交換

岩淵理事長より、選挙学会の活動を広げるために、選管や明推協などと協力するためのプロジェクトを考えている旨があった。

また、法人会員の扱いを今後どのようにしていくのか、審議する必要がある旨が確認された。

以上

**日本選挙学会
2015年度第1回理事会議事録**

日時：2015年5月16日（土） 12時05分～12時55分

場所：熊本市崇城大学ホール

出席者：岩渕理事長，岩崎事務局長，浅野（和），池谷，今井，奥，河崎，小西，品田，鈴木，建林，谷口，玉井，堤，中井，名取，日野，前田，待鳥，森，森脇，山田，和田（以上，理事），安野，竹下（以上，監事），荒井，岡田，小林，宮脇（以上，幹事）オブザーバー：浅野（正）

議題

◎ **確認事項（前回議事録）**

岩崎正洋事務局長より，浅野正彦査読委員長のオブザーバーとして理事会への出席について説明がありました承された。

議事録の確認

◎ **報告事項**

1. **各委員会の活動状況について**

■ **2015年度総会・研究会について**

今井亮介 2015年研究大会開催委員長より，2015年研究大会開催について挨拶と説明があった。

■ **企画委員会**

品田裕 2015年度研究大会企画委員長より，大会についての説明があった。公募については，セッションも増えたが，辞退も増えた（4件）旨の説明があった。

浅野和生 2016年度研究大会企画委員長から企画委員会の人員について説明があった。

■ **年報編集委員会**

河崎健年報編集委員長（第31巻担当）より，第31巻1号の初校について説明された。また，第31巻2号の内容についての説明もなされた。

前田幸男年報編集委員長（第32巻担当）より，第32巻の編集に向けて準備を進める旨について報告があった。

■ **選挙管理委員会**

三船毅選挙管理委員長より，（欠席のため岩崎事務局長が説明）選挙管理委員会2名の選出について説明され，承認された。

■ **2015年学会賞選考委員会**

森脇俊雅学会賞選考委員長より，副委員長については理事長から選出することとなっているため，西澤由隆会員を候補として選出した旨が報告され，理事会で承認された。

■ **査読委員会**

和田淳一郎 2014年査読委員長より，投稿論文数の査読状況について報告があった。

浅野正彦 2015年度査読委員長より，投稿論文の数が少ないため，今後，理事会で検討

したい旨の発言があった。

■ 国際化委員会

日野愛郎国際交流委員長より、海外学会報告3回と国際共同研究に関する資料に基づき報告がなされた。奨励賞は順調であるが、共同研究は少ないとの指摘がなされた。

2. 2015年度総会・研究会の開催について（熊本県：崇城大学ホール）

同上

3. 2016年度総会・研究会の開催について（日本大学）

岩淵理事長より、2016年度総会・研究会の開催校を日本大学法学部とし、教室の運用上で最終的には後になるが、例年通りの時期を予定（5月14日・15日）して進める旨が説明された。

4. 2014年度決算・監査報告について

岩崎事務局長より、4月18日に日本大学法学部にて、監事の安野智子先生と竹下俊郎先生が2014年度監査を行ったことについて報告があった。

それを受け、竹下先生と安野先生より、監査について説明され、2014年度の決算案が承認された。

◎ 審議事項

5. 2015年度予算案について

岩崎事務局長より、2015年度予算案について、資料に基づき説明があった。それを受け、理事会で、2015年度予算案が承認された。

6. その他

(1) 入退会申込者について

岩崎事務局長より、6名の申請があり、退会希望が6名であることが説明された（資料配布）。また、19名が3年間未納で除名となり、5月16日時点で488名が会員であることが報告された。

(2) その他

電子ジャーナルについて

小林哲郎幹事より、電子ジャーナルについての報告があった。『選挙研究』は第23巻以降の公開が止まっているが、その理由は、Jステージの変更が煩雑であることによりものであること。しかしながら、11月に簡易化が進むため、11月の運用から再開し、選挙研究の論文を順次公開する予定であるとの報告がなされた。

以上

日本選挙学会
2015年度第2回理事会議事録

日 時：2015年9月12日（土） 14時00分～

場 所：日本大学法学部4号館第4会議室

出席：岩淵、岩崎事務局長、浅野（和）、池谷、河崎、小西、中井、名取、三船、吉野、
前田、山田、和田（以上理事）、荒井、岡田、小林、三澤、宮脇（以上幹事）

議題

◎確認事項（前回議事録および総会議事録）

確認事項に先立ち、三澤会員（日大）が幹事に承認された。

2015年度総会議事録および2015年度第1回理事会議事録の確認。

◎報告事項

1. 各委員会の活動状況について

■ 企画委員会事項

品田裕 2015年度研究大会企画委員長より、（欠席により岩崎事務局長代読）熊本で開催された研究大会の報告とお礼があった。また、今後は、公募の対応、キャンセルへの対応について検討してほしいとの報告も併せてあった。

浅野和生 2016年度研究大会企画委員長より、2016年度研究企画の準備状況について報告があった。

■ 編集委員会事項

河崎健年報編集委員長（第31巻担当）より、第31巻2号の編集状況について報告があった。

前田幸男年報編集委員長（第32巻担当）より、第32巻1号の編集状況、及び第2巻の編集方針について報告があった。

■ 選挙管理委員会事項

三船毅選挙管理委員長より、2015年の日本選挙学会理事選挙についての準備状況について報告があった。

■ 学会賞選考委員会事項

森脇俊雅学会賞選考委員長より、（欠席のため岩崎事務局長代読）2015年度学会賞の選考状況について報告があった。

■ 査読委員会事項

浅野正彦 2015年度査読委員長より、（欠席のため岩崎事務局長からの報告）新しい論文投稿システムに不具合が生じているため、システムの若干の修正をすると報告があった。

■ 国際化委員会事項

日野愛郎国際化委員長より、（欠席のため岩崎事務局長代読）第1回海外学会報告奨励費、国際共同研究奨励費の選考に関する報告があった。

2. 2015 年度総会・研究会について（熊本県@崇城大学ホール）

今井亮佑 2015 年研究大会委員長より、（欠席のため岩崎事務局長代読）2015 年度総会・研究会の報告とお礼があった。

3. 2016 年度総会・研究会の開催について（日本大学）

岩淵美克理事長より、2016 年度総会・研究会の大会委員長を吉野篤理事（日本大学）に依頼する旨が提案され、承認された。併せて、2016 年度総会・研究会の準備状況について報告がされた。

4. 2015 年度海外学会報告奨励費および 2015 年度国際共同研究奨励費について

日野愛郎国際化委員長より、（欠席のため岩崎事務局長代読）第 1 回海外学会報告奨励費、国際共同研究奨励費の選考に関する報告があった。

◎審議事項

5. 2017 年度総会・研究会の開催について

岩淵理事長より、2017 年度総会・研究会を香川大学で行う予定である旨が提案され、承認された。

6. 日本選挙学会公選理事候補者選出選挙被選挙人・選挙人名簿について

三船毅選挙管理委員長より、（中座のため岩崎事務局長が報告）「2015 年日本選挙学会公選理事候補者選出選挙被選挙人・選挙人名簿」案が示され、確定した。

7. その他

(1) 入退会申込者について

新規入会者 7 名について承認した。

退会者 1 名について承認した。

選挙学会の会員が今回の理事会で 494 名になることが報告された。

(2) その他

休会の扱いの制度について今後検討していくことが確認された。

以 上

事務局だより

【新入会員】

昨年度のニュース・レター発行後に入会申請が承認された方は、以下の 25 名です（申請時の所属を記載しております）。

千葉 涼	（早稲田大学）	八島 健一郎	（ボストン大学）
岩井 義和	（日本大学）	劉 凌	（早稲田大学）
粕谷 祐子	（慶應義塾大学）	林 大介	（東洋大学）
Song Jaehyun	（神戸大学）	政木 みき	（NHK 放送文化研究所）
小川 寛貴	（早稲田大学）	三澤 真明	（日本大学）
柑本 英雄	（実践女子大学）	福田 昌史	（読売新聞社）
木佐貫 将司	（慶應義塾大学）	金子 智樹	（東京大学）
吉川 智志	（慶應義塾大学）	高宮 秀典	（東京大学）
鷲田 任邦	（早稲田大学）	鈴木 勝喜	（國學院大學）
斎藤 英明	（洗足学園音楽大学）	奈良 直記	（公明新聞）
McElwain	（東京大学）	山田 道子	（毎日新聞社）
Kenneth Mori		小椋 郁馬	（東京大学）
横江 公美	（PACIFIC 21）		
内山 卓也	（慶應義塾大学）		

【退会会員】

昨年度のニュース・レター発行後、14 名の会員が今年度末で退会予定です。

【現在の会員数】

上記の異動で、2015 年 12 月末日現在の会員数は、505 名、機関会員 1 団体となっております。

【会費の納入について】

会費は郵便振替によって納入して頂いております。口座番号と会費は以下の通りです。

口座番号

振込先（加入者名）	:	日本選挙学会
口座番号	:	00170-2-31731

年会費

正会員（大学院生以上）	:	8,000 円
法人会員	:	50,000 円
準会員（学部学生のみ）	:	2,000 円

会費を納入された方には、該当する年度の『選挙研究』を送付いたします。

過去の会費の滞納状況によっては、学会からの事務連絡、研究会での報告、年報への投稿資格などが停止される場合もあります。理事選挙のある年の7月1日時点で当該年度の会費が未納の場合、理事選挙における選挙権・被選挙権が停止されます。会費は、滞納がある場合、滞納分から充当していきます。

2008年度から、滞納猶予期限3年を経過した会員の方には自動的に退会して頂くことになっております。2016年3月末日で3年間に会費未納の場合、2015年度をもって自動退会扱いとなります。

なお、会費納入状況につきましては、学会HPの会員用ページ(My JAES)でご確認下さい(<https://www.jaesnet.org/myjaes/index.php>)。

【2016年度総会・研究会について】

2016年度の総会・研究会は、2016年5月5日(土)・15日(日)の2日間、吉野篤大会運営委員長の下、日本大学法学部で開催される予定です。

宿泊については、開催校では準備いたしませんので、各自でご手配下さい。懇親会は、14日(土)に実施いたします。奮ってご参加下さい。

【学会ホームページについて】

2009年に学会HPの全面的なリニューアルを行うとともに、会員用ページ(My JAES)を導入しました。My JAESでは、会員情報(「所属」「役職」「メールアドレス」「生年」)・書類送付先(「郵便番号」「住所」「電話番号」「FAX番号」(電話・FAX番号の登録は任意))の変更、会費納入状況の確認を、会員ご自身の手で行って頂くことができますので、是非ご活用下さい。特に、書類送付先については、誤配・遅配などの原因となりますので、会員各自で随時更新して頂きますようお願い申し上げます。また、研究会での報告の応募、報告概要や論文のダウンロード・アップロードを学会HPで行うようになっております。今後、論文投稿なども学会HPで行うよう開発を進めて参ります。

※※※事務局からのお願い※※※

事務局からの各種ご案内も、学会HPやメールを活用して行うようになっておりますが、登録されているメールアドレスに誤りがある場合、配信不能となってしまいます。My JAESにて、ご自身のメールアドレスに誤りがないか、ご確認頂きますようお願い申し上げます。

【『選挙研究』の電子アーカイブ化・電子ジャーナル化について】

すでにご案内したとおり、日本選挙学会年報『選挙研究』第1号から第23号については、電子アーカイブ化が済み、独立行政法人・科学技術振興機構（JST）のJ-Stage（<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jaes1986/-char/ja/>）で公開されております（2012年度よりJ-Stageに登載移行となりました）。是非ご活用下さい。

既刊の第24巻から第29巻2号については、電子情報化特別委員会（今井亮佑委員長）において、電子ジャーナル化の準備（J-Stageへのアップロードに向けたファイルの変換作業）を行っております。

なお、『選挙研究』に掲載される論文等は、発行から2年が経過した後、原則として電子化されます。ご執筆頂く方々には、この旨ご了解頂きますよう、お願い申し上げます。

何かご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせ下さい。

【事務局について】

日本選挙学会の事務局は、理事長の所属する日本大学に所在しておりますが、事務局長・幹事は以下の6名が務めております。学会に関する各種お問い合わせは、事務局長までお願いいたします。

事務局長：岩崎 正洋（日本大学法学部）

〒101-8375 東京都千代田区三崎町2-3-1

Tel：03-5275-8501（代表）

E-mail：office@jaesnet.org

幹 事：荒井 祐介（京都大学）
岡田 陽介（立教大学）
小林 哲郎（香港城立大学）
三澤 真明（日本大学）
宮脇 健（日本大学）

[目次へ](#)